

令和3年度事業実施状況

【交流部関係】

I 多文化共生社会支援事業

1 外国人相談窓口運営事業（外国人相談窓口運営，相談員研修会など）	1
2 災害多言語支援センター事業（広島県災害多言語支援センター設置・運営訓練， 災害時ボランティア研修会など）	5
3 日本語学習支援事業	6
4 多文化共生ボランティア事業	8
5 情報提供事業（ふれあいコーナー運営，機関誌発行）	10
6 日本文化理解促進事業	11
7 ひろしま国際交流サミット運営事業	13
8 中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会運営事業	15

II 平和貢献推進・国際人材育成事業

9 平和貢献人材育成事業	16
10 グローバルキャリア教育支援セミナー事業	17
11 「国際理解講座」開催事業	19
12 国際人材養成「異文化コミュニケーション研修」開催事業	21

III 留学生支援事業

13 留学生奨学金支給等事業	22
14 留学生住宅情報提供事業（民間宿舎情報提供，留学生住宅保証）	23
15 留学生就職支援事業	24
16 留学生受入促進事業	30
17 留学情報等提供事業（留学生ウェブサイト，留学生交流）	31

1 外国人相談窓口運営事業

(外国人相談窓口運営、相談員研修会など)

1 目的

外国人が地域の重要な活力源として地域社会に参加できるよう、言葉や生活習慣の違いから生じる課題に適切に対応し、外国人が暮らしやすく、活躍できる環境づくりと地域で外国人と生活を共にする県民の国際理解を併せて進めていく。

2 事業概要

(1) 外国人相談窓口の運営（平成 18（2006）年 4 月 15 日開設）

設 置	広島県
運 営	(公財) ひろしま国際センター（広島県から運営を受託）
設置場所	広島市中区中町 8-18 広島クリスタルプラザ 6F
相談業務の概要	<目的> 広島で暮らす外国人の日常生活に関する相談に対応して、必要な生活情報を提供することにより、外国人が暮らしやすい環境を整備する。 <業務内容> 在留資格や社会保険労務など様々な分野の相談に対して、面談や電話（フリーダイヤルあり）、メール、ファクス、SNS により多言語で対応する。 <対応言語> 10 か国語（英語、韓国語、中国語、タガログ語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ネパール語）
相談体制	情報相談員と専門相談員（在留資格、社会保険・労働条件、法律・人権等、通訳）を配置し、専門的な内容の相談に多言語で対応できる体制を整える。

【相談日・時間】

区 分			相談日(※)	時 間
情報相談			月曜日～金曜日	10：00～12：00 13：00～19：00
			土曜日	9：30～12：00 13：00～18：00
在留資格			毎週 木曜日，土曜日	10：00～12：00
社会保険・労働問題			※法律・人権問題は土曜日のみ (前日までの予約により対応)	13：00～16：00 (12：00～13：00)
			法律・人権問題	(毎月第4木曜日) (14：00～19：00)
通 訳 社 会 社	ス タ フ	5 か国語 英語，中国語，タガログ 語，ベトナム語，韓国語	毎週 木曜日，土曜日 ※韓国語は木曜日のみ	10：00～12：00 13：00～16：00
		10 か国語 英語，韓国語，中国語， タガログ語，ベトナム 語，スペイン語，ポルト ガル語，タイ語，インド ネシア語，ネパール語	月曜日～金曜日	8：30 ～ 19：00
	通 訳 会 社		土曜日	9：30 ～ 18：00

(※) 祝日及び年末年始を除く

【電話番号】

フリーダイヤル 0120-783-806

(2) 市町への出張相談

目的・内容	市町の外国人相談業務を補完し、また、遠隔地に居住する外国人住民の利便性を図るため、市町へ通訳相談員及び専門相談員を派遣する。
実施回数・実施場所	県内から地域を選定し、各地域で1回（1日）以上 実施場所は、市町の希望を確認し決定
出張相談日時	土曜日又は日曜日の10時～16時
相談内容	在留資格，社会保険，労働問題，法律，人権問題 通訳（英語，中国語，ベトナム語，タガログ語）

(3) 外国人相談の相談員（担当者）研修会

目 的	県や市町の外国人相談の窓口等において、外国人から相談を受ける際の注意点や技法を学ぶとともに、他団体の相談担当者との情報共有や連携を促進し、相談窓口対応の質の向上を図る。
内 容	○異なる文化・慣習を持った人とのコミュニケーション ○傾聴技法 ○相談員（担当者）自身のメンタルヘルス
対象者	県及び市町において、外国人住民等からの相談を受ける相談員や担当職員（国際交流協会等の職員を含む）
実施回数・実施場所	西部地域，東部地域，北部地域で各1回以上（計3回以上） 実施場所は、県と協議し決定

3 令和3年度実績

(1) 外国人相談窓口（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：人・件数）

国籍	R3 年度 相談人数	R2 年度 相談人数
中国	70	79
ベトナム	42	53
フィリピン	40	64
ブラジル	19	12
アメリカ	17	11
ペルー	10	19
バングラデシュ	10	8
インドネシア	8	21
韓国	7	8
インド	5	21
台湾	5	4
ネパール	4	8
タイ	3	4
オーストラリア	3	2
ポルトガル	3	0
日本	71	70
その他	16	34
不明	35	65
計	368	483

相談内容	R3 年度 相談件数	R2 年度 相談件数	主な内容
入管手続	87	73	在留資格の変更・更新，従業員の 手続き，家族の呼寄せ
雇用・労働	52	64	外国人の雇用相談，就職相談， 給与未払い
社会保険	9	17	社会保険料の支払い，国民健康 保険の未加入
年金	12	15	年金追納，国民年金保険料の未 納
税金	4	6	市県民税未納の対応
医療	73	76	PCR 検査，新型コロナワクチン 接種
出産・子育て	2	5	出産費用，出産後の手続
教育	4	8	外国にルーツをもつ子どもの入学・進 路，日本語学校から大学進学
日本語学習	19	23	日本語教室紹介
防災・災害	0	1	－
住宅	12	8	入居後の設備不良
身分関係	14	23	結婚・離婚の手続き，子どもの 親権，夫からの DV
交通・運転 免許	5	2	交通事故の賠償
通訳・翻訳	24	15	通訳派遣依頼，電話通訳依頼
その他	80	181	損害賠償請求，相続，貸付金，生 活苦，事件・事故
計	397	517	

(2) 市町への出張相談

令和3年度は、市町の希望を踏まえ、下表のとおり3市町で実施した。

市町による広報活動や関連団体への働きかけにもかかわらず、相談件数が伸び悩んでいる。再度、相談ニーズを掘り起こしていくかが今後の課題である。

なお、福山市においては現地での開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けオンラインと電話で対応することになった。

市町	日 時	場 所	相談件数 (件)	相談内容
安芸高田市	令和3年10月24日(日) 10:00～16:00	安芸高田市多文化共生センター 「きらり」 (安芸高田市吉田町吉田406)	5	在留資格5件, 結婚・仕事1件
三次市	令和3年11月6日(土) 10:00～16:00	みよしまちづくりセンター (三次市十日市西六丁目10-45)	1	
三原市	令和4年3月27日(日) 10:00～16:00	三原市立中央図書館 (三原市城町1丁目3-1)	2	

(3) 外国人相談の相談員(担当者)研修会

令和3年度は、下表のとおり、オンライン(Zoomを使用)で実施した。

参加者からのアンケート結果は、ほとんどの参加者が、今後の業務に役立つかや満足度について、「とても役に立つ・とても満足」又は「まあまあ役に立つ・まあまあ満足」と回答し、一定の成果を達成したが、他の市町の相談対応状況や労働基準監督署、年金事務所、入国管理局などの役所の窓口の方と交流できる研修があれば、との意見もあった。

日 時	場 所	講師	参加者数 (人)
令和3年10月8日(金) 13:30～15:30	ひろしま国際センター 交流ホール (広島市中区中町8-18 広島クリスタルラザ 6階)	(公財)兵庫県国際交 流協会スペイン語通 訳相談員	17
令和3年10月15日(金) 13:30～15:30		医療通訳研究会 (MEDINT)	20
令和3年10月22日(金) 13:30～15:30		代表・社会福祉士 村松 紀子氏	19

2 災害多言語支援センター事業

(広島県災害多言語支援センター設置・運営訓練，災害時ボランティア研修会など)

1 目的

県内に大規模災害が発生した場合に，言葉や慣習の違いから情報を入手しにくく支援を受けられない恐れがある外国人のために，必要な情報を多言語化して提供し，支援することを目的として，県と共同で支援センターを設置する。

2 事業概要

(1) 災害多言語支援センター設置・運営訓練

目的・内容	災害多言語支援センターの設置・運営についてシミュレーションを行うことにより，マニュアルの手順を検証し，災害が実際に発生した際の円滑な対応に結び付ける。
実施時期	2022年3月23日（水）13：30～16：30
実施場所	HIC 交流部内 交流ホール（広島クリスタルプラザ6階）等
参加団体・者	ひろしま国際センター，広島県国際課，協力市町，翻訳通訳ボランティア，支援団体（参集又はオンライン）
実施内容	・災害多言語支援センターの役割，訓練の意義等に係る講義 ・広島県災害多言語支援センター設置・運営シミュレーション -ひろしま国際センター交流ホール執務環境設置 -センター運営開始連絡，翻訳通訳ボランティアへの支援連絡， -多言語翻訳作成，送付・発信 ・ふりかえり

(2) 災害時ボランティア研修会

① 広島県の災害と対応状況について

開催日時・場所	2021年8月5日（木） 14:00～15:00 HIC 交流部内交流ホール又はオンライン（Zoom）
講師	広島県危機管理課 防災担当監 田中 義浩
内容	① 近年の主要な自然災害発生状況 ② 災害対策基本法における県・市町の権限等 ③ 広島県の取組について
対象者	ひろしま国際センター，広島県国際課，災害時外国人支援ボランティア

② 災害時の外国人が直面する課題・支援活動について

開催日時・場所	2021年12月11日（土）13：30～15：30 オンライン（Zoom）
講師	一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎
内容	① 災害時の外国人対応 ② 過去の災害対応事例 ③ これからの災害時対応に求められる視点
対象者	ひろしま国際センター，広島県国際課，災害時外国人支援ボランティア，外国人住民との多文化共生に関心のある方

3 日本語学習支援事業

【ワンペア日本語学習】

1 目的

外国籍県民が地域社会の一員として共に生活していくために必要な日本語コミュニケーション能力の習得を支援するとともに、県民ボランティアと外国籍県民が気楽に幅広い交流ができる場を提供し、身近な所から国際交流を推進する。

2 令和3年度実績

事業名／開催日	概 要	開催場所	参加者（人）
ワンペア日本語学習 ／随時開催	日本語を学びたい外国人と日本語を教えたい県民ボランティアがペアになり、お互いが都合のよい時間にそれぞれのカリキュラムで学習を行う。	HIC ふれあい コーナー	外国人 144 日本人 144

注：参加者数は延べ人数。

(参考) 過去の実施状況

(単位：人)

年度 区分		H4～12	H13～24	H25～30	R1	R2	R3	累計
ワンペア 日本語学習	ペア数	901	3,634	1,381	227	192	144	6,479
	延人数	1,802	7,268	2,762	454	384	288	12,958
日本語教室	外国人 (延人数)	—	46,203	—	—	—	—	46,203
	日本人 (延人数)	—	19,281	—	—	—	—	19,281
延人数合計		1,802	72,752	2,762	454	384	288	78,442

※日本語教室は平成24年度をもって廃止

【ワンペア日本語学習支援ボランティア講座】

1 目的

ボランティアの資質向上を図るため、ワンペア日本語学習支援ボランティアを対象に講座等を実施する。

2 令和3年度実績

令和3年度ワンペア日本語学習支援ボランティア講座

ね ら い	①ボランティアに日本語を教えることだけがボランティアの役目ではないということを認識してもらう。 ②日本語が得意ではない外国人とのコミュニケーションをとるために「やさしい日本語」というツールがあることを知ってもらう。 ③ボランティア活動に限らず、日常生活でも外国人との交流をスムーズに行うために、「やさしい日本語」を活用してもらう。
対 象 者	ワンペアボランティア登録後、ペア成立したことのないボランティア（県内在住外国人との交流経験が少ない方を想定）。
日 時	令和3年11月19日（金）18：30－20：00
開催方法	Zoom ミーティングを使用するオンライン研修
内 容	「やさしい日本語」の紹介ならびに、相手が求める支援を行うためには対話を通じて互いを理解し合うことの大切さを学ぶ。
講 師	ひろしま国際センター 研修部 日本語常勤講師 犬飼康弘 氏
参加人数	計13名（ワンペア11名，災害時外国人支援1名，情報相談員1名）

4 多文化共生ボランティア事業

1 目的

多文化共生活動に関心・意欲のあるボランティアに活動の場を提供するとともに、地域の外国人の利便性向上や各地域で行われる国際交流事業の効率的・効果的な実施を支援する。

2 事業概要

外国人の日本語学習の支援を行うワンペア日本語学習支援ボランティアや、住民・利用者向け資料等の翻訳、国際交流事業等での通訳・ガイドのボランティア、外国人住民が医療・保健機関を受診する際の医療通訳ボランティアなど、生活の様々な場面でコミュニケーションのサポートを行うボランティアの登録及び紹介・派遣を行っている。

また、ボランティア登録者の資質向上を図るため、講習会・研修会を実施している。

3 ボランティア登録者数（令和4年3月末現在）

分 野	登録者数（人）
ワンペア日本語学習支援	230
通訳・ガイド、翻訳	183
医療通訳	113
災害時外国人支援	68
ホームステイ・ホーム ビジットホストファミリー	10
計	604

4 ボランティア活動実績（令和3年度）

分 野	件数	延べ人数
ワンペア日本語学習支援	144	144
通訳・ガイド、翻訳	1	1
医療通訳	257	257
災害時外国人支援	0	0
ホームステイ・ホーム ビジットホストファミリー	7	—
計	409	402

(1) 通訳・ガイド、翻訳ボランティアの活動内容

(単位：人)

	時期	依頼者	内 容	対応 人数
1	5月	広島県留学生生活躍支援センター事務局	外国人留学生と企業とのマッチング交流会 ※新型コロナウイルス感染防止のため中止	—
2	1月	公益財団法人広島観光コンベンションビューロー	2021年度 JNTO-CEAV 共催「訪日観光オンラインセミナー」でのプレゼンテーション (通訳・翻訳支援)	1

(2) 医療通訳ボランティアの活動実績

区 分	派遣件数	言語別内訳
医療機関	250 件	英語 84, 中国語 91, ベトナム語 14, タガログ語 19, スペイン語 42
保健機関	7 件	英語 4, 中国語 1, ポルトガル語 2
計	257 件	英語 88, 中国語 92, ベトナム語 14, タガログ語 19, スペイン語 42, ポルトガル語 2

5 ボランティアを対象にした講座等の開催

(1) ボランティア通訳ガイド講習会

ね ら い	通訳・ガイド、翻訳ボランティアの育成とともに、登録者以外の関心層にも公開し、ボランティアの裾野の拡大を図る。
対 象 者	・通訳・ガイド、翻訳ボランティア登録者 ・日常会話レベル以上の英語が話せる方
日 時	令和4年2月19日(土) 14:00~17:00
場 所	ひろしま国際センター 交流ホール
形 式	オンライン (Zoom)
内 容	観光地(安芸灘とびしま海道)の紹介、通訳ガイドを行う際のポイント、音声改善、英語力強化トレーニング など
講 師	一般社団法人 ひろしま通訳・ガイド協会 会長 畝崎 雅子 氏
参加人数	45 名

(2) 医療通訳ボランティアスキルアップ研修

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から研修は全てオンライン (Zoom) で実施した。

令和3年度は、登録者の通訳技術の向上を目的としたスキルアップ研修のみ実施し、新規養成研修については、オンラインで能力判定を行うことが困難と判断し、実施を見合わせた。

ア 講義 (全言語共通)

講 師	倫理・心得、通訳技術の基礎：一般社団法人日本公共通訳支援協会 所属講師 医療知識：県内病院に勤務する医師	
テ ー マ	・医療通訳の倫理・心得 (①~③共通) ・医療知識 ①感染症, ②がん, ③生活習慣病	通訳技術の基礎 (①~③共通)
日 時	①6/19 (土) 13:00~15:50 ②7/31 (土) 13:00~15:50 ③11/6 (土) 13:00~15:50	①8/1 (日) 10:00~12:00 ②11/7 (日) 10:00~12:00 ③12/12 (日) 10:00~12:00
参加者数	①44 名, ②36 名, ③22 名	①21 名, ②6 名, ③16 名

イ 模擬通訳 (各言語別)

	第1回	第2回
日 時	①6/20 (日), ②7/11 (日), ③8/1 (日)	①11/7 (日), ②12/12 (日), ③1/23 (日)
	言語別に午前と午後に分かれて実施 (午前 10:00~12:00, 午後 13:00~16:00)	
課 題	・呼吸器：非結核性抗酸菌症 ・循環器：心筋梗塞 ・消化器：潰瘍性大腸炎	・精神：統合失調症 ・眼：結膜炎 ・医療制度：高額療養費
参加者数	①英語 5 名, 中国語 4 名, ポルトガル語 1 名 ②英語 8 名, 中国語 7 名, タガログ語 2 名, ベトナム語 4 名, スペイン語 3 名 ③英語 4 名, 中国語 5 名	①英語 2 名, スペイン語 3 名 ②英語 8 名, 中国語 5 名, タガログ語 4 名, ベトナム語 3 名, ポルトガル語 1 名 ③英語 3 名, 中国語 5 名

5 情報提供事業

(ふれあいコーナー運営、機関誌発行)

1 目的

県民や外国人が自由に歓談できるふれあいの場を提供するとともに、日本や外国に関する多様な情報を提供する。

2 事業概要

(1) 交流ホール等の運営 (平成4(1992)年7月7日開館)

① 所在地：広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階 (面積354㎡)

② 施設：

- インフォメーションコーナー：総合案内、情報提供 等
- ふれあいコーナー：歓談、外国の新聞・雑誌の閲覧 等
- 図書・情報コーナー：日本や外国の本・パソコンによる情報提供 等
- 交流ホール：国際交流を目的とした事業に貸出
- JICAコーナー：国際協力機構(JICA)の事業に関する情報揭示

(2) 「HIC通信」の発行：ひろしま国際センターからの情報提供機関誌

(3) 新聞広告の掲載：HICの事業紹介など

3 令和3年度実績

(1) 交流ホール等の運営 (開館日数：292日) 閉館：コロナ対応60日

開館時間：月～金 10:00～19:00, 土 9:30～18:00

休館日：日曜日、祝日、12月28日～1月4日

① 来館者数

区分	日本人	外国人	計	外国人比率
総数(人)	1,943	1,588	3,531	45.0%
1日平均	8.4	6.8	15.2	

② インフォメーションコーナーでの相談・問合せ件数

区分	日本人	外国人	計	外国人比率
総数(件)	52	153	205	74.6%
1日平均	0.18	0.52	0.70	

※来館者数の1日平均値は、コロナ対応での閉館日数を除いて算定

(参考) 過去の状況

(単位：人, %, 件)

区分 \ 年度	H4～23計	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	累計
来館者総数	756,647	19,378	13,652	14,375	14,828	16,224	15,506	14,039	10,909	4,799	3,531	883,888
日本人	372,407	9,657	7,152	7,579	8,306	8,649	8,303	7,524	5,647	2,520	1,588	439,687
外国人	384,240	9,721	6,500	6,796	6,522	7,575	7,203	6,515	5,262	2,279	1,943	444,201
外国人比率	50.8	50.2	47.6	47.3	44.0	46.7	46.5	46.4	48.2	47.5	45.0	50.3
相談・問合せ	76,976	999	812	664	560	498	296	359	406	308	143	81,878

(2) HIC通信の発行：4回 (第112～115号)

(3) 新聞広告の掲載：0回

(4) テレビ・新聞報道：5件

(ウクライナ支援(通訳・相談対応), 災害多言語支援センター等)

6 日本文化理解促進事業

1 目的

在広外国人等に、地域の伝統行事への参加、歴史文化鑑賞、ホームステイなどを通じた日本文化体験の機会や地域住民との交流の場を提供する。

また、草の根国際交流の輪を広げ、地域における国際交流を促進するとともに、ボランティアなどの活動の場を提供する。

2 事業概要

(1) 地域交流促進

日頃、外国人との交流が少ない地域で開催されるイベント・行事などに、外国人参加者の募集・派遣を行い、地域住民と外国人とが交流できる機会を提供する。

(2) 外国人日本文化体験

在広外国人を対象に、能楽や雪生活など日本・広島伝統的な文化やイベントの体験機会を提供する。



交流会での スポーツ雪合戦 (左)、 高校生との交流会 (右)

3 令和3年度実績

(1) 地域交流推進

実施日	プログラム名	実施場所	協力団体等	外国人参加者	
				人数	国・地域
3月16日 (水)	加計高校芸北 分校との交流 会	北広島町	広島県立加計高等学校芸北 分校	28	14

(2) 外国人日本文化体験

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、プログラムが中止

実施日	プログラム名	実施場所	協力団体等	外国人参加者	
				人数	国・地域
-	能楽鑑賞	広島アステールプラザ	(公財) ひろしん文化財団	-	-

地域交流推進 過去の実施状況（平成17(2005)年度開始）

区分／年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
プログラム数	1	1	1	1	1	1	1	1
参加延べ人数（人）	44	42	39	37	42	79	46	28
参加者の国・地域	11	8	11	13	14	16	16	14
協力ボランティア（人）	2	0	0	0	2	1	1	0

区分／年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
プログラム数	1	2	2	2	2	2	2	2	1
参加延べ人数（人）	49	91	77	82	81	80	78	82	49
参加者の国・地域	7	23	18	20	15	20	25	20	11
協力ボランティア（人）	63	139	130	130	137	126	72	7	3

外国人日本文化体験 過去の実施状況（平成17年度開始）

区分／年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
プログラム数	1	1	1	1	1	1	-	-
参加延べ人数（人）	42	25	39	7	27	33	-	-
参加者の国・地域	8	6	8	5	8	9	-	-
協力ボランティア（人）	0	0	0	0	0	2	-	-

区分／年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
プログラム数	3	3	4	5	3	3	3	1	1
参加延べ人数（人）	89	108	138	239	121	138	119	20	22
参加者の国・地域	13	17	27	35	19	21	23	7	6
協力ボランティア（人）	40	42	60	55	43	50	43	0	0

（参考）旧地域交流推進事業 過去の実施状況（平成13年度開始）

区分／年度	H13	H14	H15	H16	累計
プログラム数	12	6	10	8	36
参加者数計（A+B）	1,302	550	1,729	794	4,375
事業参加者（A）	1,255	443	1,448	629	3,775
協力ボランティア（B）	47	107	281	165	600
協力ボランティアの国・地域	18	24	41	10	93

注：日本人参加者数には、中学校等からの依頼による国際理解教室参加中学生数を含む。

（参考）旧外国人日本文化体験プログラム実施事業 過去の実施状況（平成8年度開始）

区分／年度	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	累計
プログラム数	6	7	7	6	6	6	6	4	5	53
参加延べ人数（人）	257	353	349	191	222	244	224	156	175	2,171
参加者の国・地域	30	49	34	20	23	25	24	25	39	269
協力ボランティア数 （人・家族）	90	87	180	112	168	192	42	56	67	994

7 ひろしま国際交流サミット運営事業

1 目的

県内の国際交流団体やボランティアグループ等の情報交換・活動促進と相互連携を図る。

2 事業概要

県内の国際交流・協力団体やNGO・ボランティアグループ等により構成される「ひろしま国際交流サミット」(平成元(1989)年11月18日設立)の運営として、情報交換や協働事業の企画等を行う。

3 令和3年度実績

(1) ひろしま国際交流サミットの開催

会議名	開催日・場所	出席者	内 容
総会	10月19日(火) 広島市 (ひろしま国際センター 交流ホール)	【出席者計】 32団体 47名 (内訳) ・来場出席 14団体 16名 ・Zoom出席 24団体 31名 ※両方に参加された 団体あり	○役員紹介 ○議長挨拶 ○令和2年度事業実績について ○講演会 テーマ：「オンライン講座に必要な 対応能力」～オンライン ファシリテーターになろ う！～ 講 師：(株)ひとまち 代表取締役 ちょんせいこ氏

※新型コロナウイルスの影響で、Web会議(Zoom)を併用して開催。交流会は中止とした。



ひろしま国際交流サミット総会・講演会

(2) 令和3年度助成金交付事業
該当事業なし

(参考1) 役員名簿

職名	氏 名	所 属
議長	上田 みどり	広島経済大学 名誉教授
副議長	小泉 崇	(公財)広島平和文化センター 理事長
副議長	西田 敏啓	(公財)ひろしま国際センター専務理事(兼)事務局長
幹事	宮地 尚	(特非)福山ブルガリア協会 会長
幹事	安藤 周治	さくぎ交流協会 会長
幹事	倉本 道正	(公財)東広島市教育文化振興事業団 常務理事

(参考2) 加盟団体の状況 (各年度末) 単位:団体数

分科会 \ 年度	H4	H5	H6~H28	H29	H30	R1	R2	R3
広島地域	107	111	...	118	112	112	112	109
備北地域	11	13	...	9	6	7	6	6
備後地域	21	27	...	22	24	22	21	21
広島中央地域	—	—	...	11	10	11	11	11
合計	139	151	...	159	152	152	150	147

8 中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会運営事業

1 目的

地域を基盤として国際化活動をしている中国・四国地区の地域国際化協会が、情報交換や相互連携を通じて、地方における国際化活動の充実発展と全域的な国際化の促進に寄与する。

2 事業概要

幹事協会が座長となり、協議会を年1回開催する。

(参考) 構成団体

団 体 名	所 在 地
(公財) 鳥取県国際交流財団	鳥取県鳥取市
(公財) しまね国際センター	島根県松江市
(一財) 岡山県国際交流協会	岡山県岡山市
(公財) 山口県国際交流協会	山口県山口市
(公財) 徳島県国際交流協会	徳島県徳島市
(公財) 香川県国際交流協会	香川県高松市
(公財) 愛媛県国際交流協会	愛媛県松山市
(公財) 高知県国際交流協会	高知県高知市
(公財) 広島平和文化センター	広島県広島市
(公財) ひろしま国際センター	広島県広島市

3 令和3年度実績

中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会の開催

(令和3年度幹事協会：(公財) 山口県国際交流協会)

- (1) 開催日：令和3年12月1日(水)
- (2) 開催方法：オンライン会議
- (3) 出席者：構成団体及び(一財)自治体国際化協会の役職員
- (4) 内 容：○提出議題についての意見交換
○研修会
テーマ：災害多言語支援センターの設置・運営について
～令和3年8月大雨災害の事例から～
講師：(公財)佐賀県国際交流協会 主事 北村 浩氏

9 平和貢献人材育成事業

1 目的

国際協力や NGO 活動，開発途上国に関する県民の理解を促進する。

2 事業概要

当センター主催の「H I C 世界体験デー」を開催し，外国人ボランティアと地域住民が互いに交流し，異文化体験や国際交流ができる場を提供した。

3 令和3年度実績

開催日時	令和3年10月31日（日）10：00～16：00		
開催場所	公益財団法人ひろしま国際センター		
ねらい	一般住民に向け，国際交流・協力活動を行う団体等による活動紹介や芸能披露などを行うとともに，在住外国人を含む参加者に国際交流・協力活動に親しんでもらえるような参加型事業を行った。		
内 容	国際交流員や留学生等の在住外国人による各種ワークショップ（世界の国クイズ、外国人との交流ブース，キャンドルづくり，折り紙での韓服づくり，中国剪紙など）やステージでの芸能披露（歌・舞踊・楽器の演奏）		
参加人員	来場者 241 人		
総 括	新型コロナの影響から，例年の国際フェスタへの参加ができなかったため，昨年に引き続き，当センター単独でのイベント開催となった。多くの住民に外国人と直接対話交流する機会を設けることができ，好評を得ることができた。また，日本人の家族連れや，外国人ボランティアの友人等が多く訪れ，これまで当センターの利用経験がなかった客層も多く来場し，当センターの存在を PR できた。		
開催状況	【外国出身の人とお話してみよう】		【インドネシア伝統舞踊】
			
	【メキシコのお面づくり】		【アフリカ布でタンブラーづくり】
			

10 グローバルキャリア教育支援セミナー事業

1 目的

国際舞台で活躍する人づくりに向け、県内の中・高生や大学生を対象に、海外での仕事経験がある講師が国際関係の仕事の紹介をし、広島から世界の懸け橋となる人材の育成支援を目的にセミナーを開催した。

2 事業概要

第1回は国際連合人間居住計画（国連ハビタット）ミャンマー事務所の JPO, 第2回は外務省国際機関人事センターと国際労働機関（ILO）ジュネーブ本部 JPO の方を講師として招き、オンラインでセミナーを行った。第3回は「開発コンサルタント」について、第4回は「国際協力 NGO」について、民間会社及び NGO の職員の方を講師にオンラインでセミナーを行い、それぞれの体験談ややりがい、国際関係の仕事の種類や違いについてお話いただいた。

3 令和3年度実績

実施日	令和3年6月27日（日）	令和3年7月23日（金）
テーマ	国際連合人間居住計画（国連ハビタット）による講演	外務省 国際機関人事センターと国際労働機関（ILO）による講演
内 容	・講師による講演・質疑応答	・第1部：中富玄氏（ILO）の講演・質疑応答 ・第2部：栗原真由花氏（外務省）の講演・質疑応答 ・第3部：全体を通しての質疑応答
講 師	秋元七海 氏/国際連合人間居住計画（国連ハビタット）ミャンマー事務所 JPO	中富玄 氏/ILO ジュネーブ本部 JPO 栗原真由花 氏/外務省国際機関人事センター
参加人員	54 人	83 人
総 括	現在のお住まいであるカナダから繋ぎ、国連の仕組みや国連職員になるために必要なスキル、ミャンマー事務所での仕事についてお話しいただいた。さらに、国連機関で働くことや海外での生活について、ざっくばらんに質問に答えてくださり、参加者が夢の実現に向けて一歩踏み出す勇気を与えてくださるような講演だった。	中富氏とはジュネーブから繋ぎ、ILOでの仕事内容などを分かりやすく説明していただき、自身の経験や経歴から、参加者に具体的なアドバイスをくださった。また、外務省の栗原氏より、国際機関で働くための各種制度について説明があり、さらに、ご自身のこれまでの海外（特に紛争地域）での活動についてもお話しいただき、参加者は真剣な表情で聞き入っていた。
開催状況		

実施日	令和3年10月24日（日）	令和4年3月6日（日）
テーマ	「開発コンサルタント」について、一般社団法人海外コンサルタンツ協会（ECFA）及び株式会社コーエイリサーチ&コンサルティングによる講演	「国際協力NGO」について、特定非営利活動法人アイキャン（ICAN）及び特定非営利活動法人ADRA Japanによる講演
内 容	・第1部：河野敬子氏（AAR Japan）の講演 ・第2部：渡辺聖也氏（株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング）の講演 ・第3部：質疑応答	第1部：上田耕二氏（特定非営利活動法人ADRA Japan）の講演・質疑応答 第2部：北島美聡氏（特定非営利活動法人アイキャン）の講演・質疑応答 第3部：全体を通しての質疑応答
講 師	河野敬子 氏/一般社団法人海外コンサルタンツ協会（ECFA） 渡辺聖也 氏/株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング	北島美聡 氏/特定非営利活動法人アイキャン（ICAN） 上田耕二 氏・高橋睦美 氏/特定非営利活動法人ADRA Japan
参加人員	33 人	31 人
総 括	ECFAの河野氏より、「開発コンサルタント」の位置づけや仕事について丁寧に説明をしていただき、各専攻別のキャリアパス例をご提示いただいた。 また、渡辺氏からは、海外で活動していた時の1日のスケジュールや現地の方たちとのコミュニケーションについてお話しいただき、学生にとって開発コンサルタントをよりイメージしやすいセミナーとなった。	上田氏とは赴任地であるジンバブエから繋いで講演いただいたことにより、現地での様子が伺えることで説得力が増し、参加者から好評であった。 また、北島氏からは日本に居てもできる国際協力のお話しもしていただき、コロナ禍において留学や海外でのボランティア活動ができない参加者にとってモチベーション向上の一助となった。
開催状況	 	 

1 1 「国際理解講座」開催事業

1 目的

社会人向けの学術的な講演会は大学の公開講座などで開催されているが、中学生や高校生向けのものはありません。分かりやすく写真や事例を交えて講師の方に説明していただくことで、今世界で起きている問題を知るきっかけ作りとして開催した。また、問題の本質を理解し、皆で共有することを目的としている。

2 事業概要

異文化コミュニケーション事業の一環として開催。世界では様々な問題が発生しているが、これらの課題の発生原因や背景を専門家により分かりやすく解説してもらい、私たちにできることは何かを考える。新型コロナ感染対策として、全てオンラインでの開催とした。

3 令和3年度実績

実施日	令和3年9月25日(土)	令和3年11月14日(日)
テーマ	難民問題を学び、できることを考える	パレスチナの今を知り、平和について考える
内 容	・講師による講演・質疑応答	・第1部：「パレスチナ問題の背景と人々の暮らしの現在」 田浪亜央江氏の講演・質疑応答 ・第2部：「国境なき医師団の、ガザ地区医療援助活動」 西岡憲吾氏の講演・質疑応答 ・第3部：全体を通しての質疑応答
講 師	葛西 伶 氏/UNHCR 駐日事務所	田浪亜央江 氏/広島市立大学国際学部 准教授 西岡憲吾 氏/国境なき医師団日本
参加人員	94 人	68 人
総 括	「難民」という言葉の定義から、ミャンマーやアフガニスタンなどの世界の難民、日本国内の難民問題まで幅広い内容を取り扱った。また、UNHCRの支援内容や参加者でも出来る難民支援の方法なども紹介していただいた。動画を多用していただいたので、大変分かりやすかったとの声があった。 事前質問を含め、講演中も全て紹介しきれないほどの質問があり、大盛況に終わった。	田浪氏より問題の歴史的背景や現在のパレスチナの人々の暮らしをお話いただき、西岡氏からは国境なき医師団の活動状況や現地派遣時の様子についてお話ししていただいた。 パレスチナの日常においては、厳しい環境下でも人々が前向きに生活をしていることなど、実際の現地の様子をお話していただいたことで、ニュースを見るだけでは分からない人々の心の温かさ等を知ることが出来たとの声があった。
開催状況	 	 

実施日	令和3年11月27日(土)
テーマ	ミャンマーの今を知ろう
内 容	・第1部:「どうしてこんなことになっちゃったんだろう?」 小西広明氏の講演・質疑応答 ・第2部:「現地の人々の暮らしとARTIC活動状況」 工藤絢花氏の講演・質疑応答 ・第3部:全体を通しての質疑応答
講 師	小西広明 氏/国際交流基金ヤンゴン日本文化センター 工藤絢花 氏/認定NPO法人れんげ国際ボランティア会ヤンゴン事務所(ARTIC)プロジェクトオフィサー
参加人員	41人
総 括	小西氏からは地理的な問題を始め、クーデターが起こるまでの歴史的背景を、参加者の理解度を確認しながら一つ一つ丁寧に講演いただいた。また、工藤氏はミャンマーのイラワジ管区から繋ぎ、クーデター後の現地の様子を、動画を交えてお伝えいただいたり、ARTICの活動状況をお話いただいたりした。 お二人とも現地で見聞きされたならではのお話や写真のご提示があり、大変分かりやすく貴重な講演だったとの声があった。
開催状況	 

1 2 国際人材養成「異文化コミュニケーション研修」開催事業

1 目的

県内の留学生や外国人住民等が自国の文化、習慣等について県内在住の日本人や外国人に紹介し、気軽な雰囲気でのコミュニケーションを行うことを通じて、多様性を理解するきっかけ作りとする。また、異文化交流を通し、相互理解を深め、多文化共生社会づくりの一助として、顔の見える関係を作る。

2 令和3年度実績

実施日	6月26日(土)	7月31日(土)
イベント名	Zoomで参加！オンライン料理教室	JICA キッズセミナー
内容	韓国出身の国際交流員に韓国料理を教わり、料理を作りながら韓国文化について知るとともに、県内在住の日本人・外国人が互いに交流できる場を提供する。	小学生を対象に、外国について知ってもらい、興味をもつきっかけづくりを目的として、JICA 青年海外協力隊OBによる赴任国の紹介を行った。
講師	ホ ソヒ 氏	三田 嵩氏 (パプアニューギニア派遣) 高村 有紀氏 (マダガスカル派遣)
参加人員	10 組	21 名
開催状況		

実施日	3月12日(土)
イベント名	餃子づくり交流会
内容	料理教室を実施し、中国の食文化・料理を通して、中国について理解を深める。
出演者	特定 NPO 法人虹橋の会
参加人員	15 名
開催状況	

1 3 留学生奨学金支給等事業

1 目 的

県内で学ぶ外国人留学生の生活を支援するとともに、日本文化の理解を深め、県民との交流を促進する。

2 事業概要

(1) 留学生奨学金支給制度

広島県内の大学、大学院、短期大学等に在籍する私費外国人留学生に対し、奨学金を給付し、留学生の学生生活の安定と、諸外国との友好交流の促進に寄与することを目的とした制度

① ひろしま国際センター留学生奨学金制度：1 か月 3 万円、年間 36 万円を分割給付

○ センター：ひろしま国際センターの一般財源による奨学金（昭和 63(1988)年度開始）

○ 企業等協力：企業等の寄附（1 口 37 万円）による冠奨学金

年 2 回留学生と支援企業との交流会を開催（平成 2(1990)年度開始）

○ 県民支援：県民の寄附（1 口 5 千円）による奨学金（平成 6(1994)年度開始）

② 渡日等留学生支援に係る奨学金制度：18 万円を一括給付（平成 26(2014)年度開始）

新規の渡日又は他県からの転入により、新たに県内の大学や短期大学に進学した私費留学生を対象に、最も生活が不安定な時期である入学後半年間に重点化し、支援を行う。

○ ひろしま国際センター：ひろしま国際センターの自己財源による奨学金

○ 広島県留生活活躍支援センター：広島県留生活活躍支援センターの会費による奨学金

(2) 県内文化施設等優待事業

県内 64 文化施設等の入場料等を減免（昭和 63(1988)年度開始）

3 事業実績

年度 区分				S63 ～ H23 累計	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	累計
ひろしま国際センター留学生奨学金	センター	支給(人)	通期	212	7	8	3	3	3	3	3	3	4	4	253
		下期	194	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	194
	企業等協力	支給(人)	通期	1,052	51	50	47	45	48	49	48	46	38	36	1,510
		下期	63	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	64	
		企業等数		954	44	42	41	39	40	41	39	39	35	35	1,349
		口数		1,081	51	49.5	46.5	44.5	47.5	48	47.5	47	37.5	36	1,536
	県民支援	支給(人)	通期	62	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	82
		下期	87	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	87
		会員数		3,255	72	78	78	75	66	67	68	68	68	66	3,961
	渡日等留学生支援に係る奨学金	ひろしま国際センター	支給(人)	前期			6	6	6	6	6	6	4	5	45
後期					4	4	4	3	4	4	4	1	28		
広島県留学生活躍支援センター		支給(人)	前期			6	6	6	6	6	6	3	5	44	
		後期			4	4	4	4	4	4	4	2	30		
支給人数(人)				1,670	60	60	72	70	73	73	73	72	59	55	2,337
文化施設等優待カード [*] 発行数				9,194	628	586	667	615	1,092	1,584	1,606	1,010	424	341	17,747

1 4 留学生住宅情報提供事業

(民間宿舎情報提供、留学生住宅保証)

1 目 的

県内で学ぶ外国人留学生に対し、民間宿舎の物件情報提供や賃貸借契約の連帯保証人として機関保証を行うことにより、外国人留学生の住宅確保の円滑化を図る。

2 事業概要

(1) 民間宿舎情報提供事業

各高等教育機関の所在地別に民間宿舎情報が検索できる、公益社団法人広島県宅地建物取引業協会のウェブサイトに広島県留学生生活躍支援センターのウェブサイトからリンクを貼って、各大学が立地する地域ごとに検索できる民間宿舎情報を提供する。

(2) 留学生住宅保証事業（平成 24(2012)年度開始）

① 対象者

「留学生住宅保証制度」に加入している広島県留学生生活躍支援センターの会員である大学、短期大学及び高等専門学校に在籍又は入学を許可された留学生

② 利用条件

- ・留学生は大学等の推薦を受けること。
- ・留学生は公益財団法人日本国際教育支援協会の「留学生住宅総合補償」に加入すること。
- ・ひろしま国際センターが定める「建物賃貸借契約書」を使用すること。

③ 内容

- ・延滞家賃とその延滞損害金
- ・退去に伴う原状回復に要する経費
- ・行方不明時及び帰国時の家財等の処分に要する経費

④ 保証金額

- ・建物賃貸借契約を解約する際に必要な補修費用などを敷金から充当しても不足する場合の債務の金額を保証し、「留学生住宅総合補償」の補償金支払額（上限 30 万円）を限度とする額



3 事業実績

- (1) 令和 3 年度の利用者・・・・・・・・・・ 12 名
- (2) 平成 24 年度制度開始以来の利用者総数・・・ 70 名
- (3) 留学生住宅保証制度加入大学数・・・・・・・・ 7 大学

1 5 留学生就職支援事業

1 目 的

外国人留学生の県内企業への就職支援を強化し定着促進を図る。

2 事業概要

- (1) 体系的就職セミナー開催事業
- (2) インターンシップ事業
- (3) 就職活動個別コンサルタント事業
- (4) 企業・留学生交流会事業
- (5) 留学生企業説明会事業

3 令和3年度実績

- (1) 体系的就職セミナー開催事業

<はじめての就活教室>

ア) 目 的

2021 ひろしま留学大使の事前研修の一つとして、留学生を対象に日本の就職について気軽に楽しく学べる場を設ける。

イ) 事業概要

- ① 対 象 者：2021 ひろしま留学大使にエントリーした留学生
- ② 実施日及び場所：令和3年8月20日（金）15時30分～16時15分
令和3年8月24日（火）15時30分～16時15分
ひろしま国際センター 交流ホール
- ③ 参加者数等：8月20日：7名，8月24日：9名
- ④ 研修内容：・留学生が日本での就職活動を上手に進めるには！
・広島県の業界，企業について
・オンリーワン，ナンバーワン企業について
- ⑤ 講 師：株式会社ディスコ 大野 奈々氏



<就職活動実践セミナー>

ア) 目 的

日本企業への就職を目指し，これから就職活動を始めようとしている外国人留学生（学部3年・修士1年等）を対象に，「自己分析」「企業分析」「エントリーシートの書き方」「面接対策」など，就職活動に必要な知識やスキルの習得を図る。

イ) 事業概要

- ① 対 象 者：これから就職活動を始めようとしている留学生（学部3年，修士1年等）

② 実施日等

会場	日時	場所	申込者数	受講者数
広島会場 【対面・オンライン】	11月21日(日) 10時～16時	ひろしま国際センター 交流ホール	対面 10 オンライン 10	対面 3 オンライン 7
東広島会場	11月13日(土) 10時～16時	ひろしま国際プラザ	8	6
福山会場	12月12日(日) 13時30分～15時30分	福山市西部市民 センター	12	12
<オンライン>	2月28日(月) 10時～16時	—	11	6
<模擬面接会>	3月18日(金) 10時30分～12時	ひろしま国際センター 交流ホール	11	5
		合 計	62	39

- ③研修内容：日本の就活の流れを知ろう
 日本の就活マナーを知ろう
 自己PRの書き方
 ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）の書き方
 面接を体験してみよう

- ④講 師：株式会社ディスコ 大野 奈々氏



<「自分」再発見プログラム> 【新規】

ア) 目 的

日本国内で就職活動を行う前段階として、「自分を知る」きっかけを提供し、今後の留学生活や実際の就職活動の充実につながる契機とする。

イ) 事業概要

- ① 対 象 者：当センター構成団体の大学・短期大学・高等専門学校に在籍している日本語能力N2相当以上の留学生。
- ② 実施日及び場所：令和3年11月27日(土)9時30分～11月28日(日)17時
ひろしま国際プラザ(1泊2日)
- ③ 参加者数等：申込者数 38名 参加者数 20名(抽選により決定)
- ④ 研修内容：グループワークや街頭での調査活動を通じて、現在の自分の日本語による表現力やプレゼンテーション能力を知り、さらなる向上に向けたきっかけづくりにするもの。
- ⑤ 講 師：ひろしま国際センター日本語講師



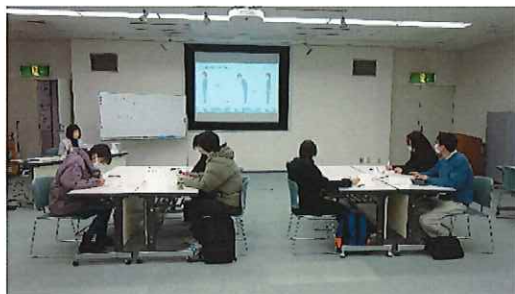
<入社準備セミナー>

イ) 目 的

日本企業への就職が決まった外国人留学生を対象に、「在留資格」「ビジネスマナー」「税金・保険」など、企業で働く際に必要な知識やスキルの習得を図る。

イ) 事業概要

- ① 対 象 者：令和4年4月に日本企業へ入社予定の留学生
- ② 実施日及び場所：令和3年12月19日（日）10時～15時30分
ひろしま国際センター 交流ホール
- ③ 参加者数等：申込者数 8名 受講者数 6名
- ④ 研修内容：・日本の企業文化の理解「挨拶～報・連・相（遅刻・休みの連絡などを含む）」
・在留資格の変更手続きについて、給料から引かれるもの（税金や社会保険料など）
- ⑤ 講 師：一般財団法人日本国際協力センター 早田 典子氏
株式会社ダイキホールディングス 安井 友美氏



<就職活動開始セミナー>

ア) 目 的

就職活動中の留学生（学部4年生・修士2年生）を対象として、本格的に採用選考が始まる前に、就職活動の重要なポイントについて学ぶ。

イ) 事業概要

- ① 対 象 者：学部4年生・修士2年生及び既卒の留学生
- ② 実施日及び場所：令和4年3月11日（金）12時30分～13時
広島市留学生会館
- ③ 参加者数等：申込者数 14名 受講者数 32名
- ④ 研修内容：3月中にやっておくべきことは何か、エントリーの仕方や応募書類の提出方法、面接の受け方についてなど
- ⑤ 講 師：株式会社ディスコ 柚川 義之介氏



(2) インターンシップ事業

<就業体験コース>

ア) 目的

県内企業での就業体験の場を提供し、実践的なビジネス日本語能力の向上や日本企業の理解促進を図る。

イ) 事業概要

- ① 対象者：広島県内企業に就職意思又は関心がある留学生
- ② 実施時期：令和3年8月～令和4年2月
- ③ 受入協力企業及び参加人数
 協力企業：19社
 実施企業：6社
 参加人数：24名

<企業見学ツアーコース>

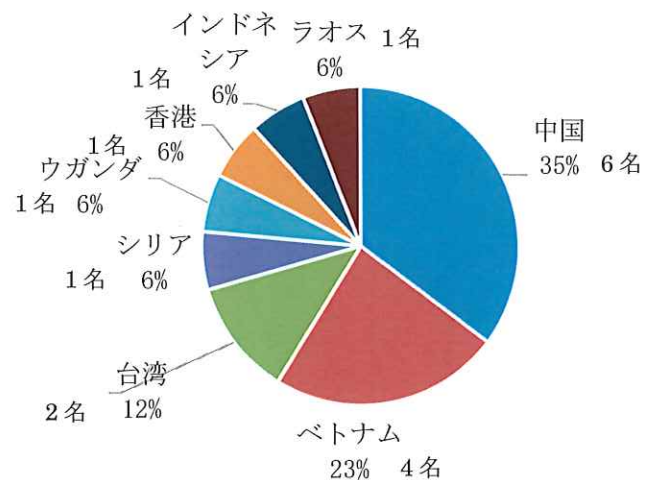
ア) 目的

県内を代表する企業を見学し、県内企業への認識と理解の促進を図る。

イ) 事業概要

- ① 対象者：日本語での説明が理解可能な外国人留学生
- ② 実施時期

回	実施日	訪問企業	参加者数
第1回	令和3年9月22日(水)	日本デリバリーサービス株式会社	7名
第2回	令和3年11月4日(木)	株式会社コーコス信岡 株式会社タケウチ建設	6名
第3回	令和4年3月23日(水)	矢野食品株式会社 広島第一交通株式会社	4名



(3) 就職活動個別コンサルタント事業

ア) 目的

県内留学生の就職活動に対する個別相談を行い、県内企業への就職を促進する。

イ) 事業概要

- ① 対象者：就職活動実践セミナー受講者、就職活動を開始する学部3年・修士1年、及び就職活動中の学部4年・修士2年・博士課程の留学生等
- ② 実施時期：令和3年4月～令和4年3月
- ③ 相談内容：就職活動計画の策定、採用企業の情報提供、就職活動に関わる個別相談等
- ④ 実施方法：面談、オンライン（Zoom・Skype）、メール、電話及びF a x等による。
- ⑤ 実績：69名（新規40名+継続29名）

(4) 企業・留学生交流会事業

ア) 目的

企業と留学生の相互理解を深めるための場を提供するとともに、留学生採用企業の掘り起しにもつなげる。

イ) 事業概要

<第1回>

外国人留学生と企業とのマッチング交流会（JETRO・（一社）中国経済連合会共催）

- ① 開催日（場所）：令和3年5月25日（火）（オンライン）
- ② 参加者：企業関係 8社
留学生 36名（12校）
- ③ 内容：1社ずつ説明時間を設け、視聴している留学生へ会社説明及び質疑応答をする。

<第2回>

外国人留学生就職交流会（JETRO・（一社）中国経済連合会共催）

- ① 開催日（場所）：令和3年9月7日（火）（オンライン）
- ② 参加者：企業関係 9社
留学生 56名（18校）
- ③ 内容：第1部 企業向けセミナー及び留学生向けセミナー（OB・OGの体験談講演）
第2部 企業ごとにブレイクアウトルームに分かれて会社説明

<第3回>

日本企業へ就職内定した留学生との交流会

- ① 開催日（場所）：令和3年12月19日（日）（ひろしま国際センター 交流ホール）
- ② 参加者：企業内定者 5名
留学生 8名（4校）
- ③ 内容：日本企業へ就職内定した留学生が、自身の就職活動について母国語・英語・日本語で説明する。

<第4回>

外国人留学生就職交流会（JETRO・（一社）中国経済連合会共催）

- ① 開催日（場所）：令和3年12月22日（水）（東広島芸術文化ホールくらら）
- ② 参加者：企業関係 13社
留学生 44名（8校）
- ③ 内容：第1部 企業向けセミナー及び留学生向けセミナー
第2部 企業ごとにブースに分かれて会社説明

<第5回>

留学生採用予定企業との交流会

- ① 開催日（場所）：令和4年2月4日（金）（広島県立産業会館「キャリタス就活」フォーラム内）
- ② 参加者：企業関係 2社
留学生 10名（5校）
- ③ 内容：留学生がキャリタス就活フォーラム出展企業を訪問する。また、出展企業の内、留学生の採用を検討している企業の採用担当者を招き、留学生と交流してもらう。

<第6回>

留学生とOB・OGとの交流会

- ① 開催日（場所）：令和4年3月11日（金）（広島市留学生会館）
留学生 54名（10校）
- ② 内容：県内企業で働く元留学生が日本での就業体験や現在の仕事内容について母国語（中国語・ベトナム語）及び日本語で説明する。

(5) 留学生企業説明会事業

ア) 目 的

留学生に特化した企業説明会を開催し、企業と留学生とのマッチングを促進する。

イ) 事業概要

- ① 開催日（会場）：令和4年3月11日（金）（広島市留学生会館）
- ② 対象者：主に県内の留学生採用企業と外国人留学生
- ③ 参加状況：出展企業 18社、参加留学生 54名



1 6 留學生受入促進事業

1 目 的

国内外からの優秀な留學生の受入れを促進するため、広島県の留学環境や県内大学・日本語教育機関を紹介するPR活動を行う。

2 事業概要

広島県の留学環境や県内大学・日本語学校等を紹介するパンフレットの作成や、県内の留學生で結成した「ひろしま留学大使」によるSNSを通じた広島県の留學生生活の魅力発信、国内外の日本語学校等で勉強している留學生及び留學生の進路指導を行う教職員を対象とする「オンライン進学説明会事業」を実施する。

3 令和3年度実績

(1) 留学促進広報資料作成事業

平成30年度に広島県の留学環境、県内大学、短期大学、高等専門学校、日本語教育機関を紹介するパンフレット「広島留学ガイド」を刷新。5言語（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語）で作成し広報している。



(2) ひろしま留学大使事業

中国、ベトナム、インドネシア、台湾、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ペルー、USAの10か国・地域からの留學生25名より結成された「ひろしま留学大使」が、SNSを通じて広島留学の魅力を国内外の外国人學生に母国語と日本語で発信。また留學生のリーダーとして留學生を取り巻く課題を解決するため、グループごとにテーマを決め課題解決を目指す「HIC Challenge Club」を実施。

(3) 進学説明会事業

ア) 目 的

国内外の日本語学校、専門学校等に在籍する留學生および留學生の進路指導を行う教職員を対象に、オンライン（Zoom）にて広島県の留学環境の紹介や広島県内大学への進学を促進する。

イ) 事業概要

①留學生向け

実施日時：令和3年7月24日（土）13：30～15：40

実施方法：オンライン（各大学のZoomURLを使用）

1回25分（説明・質疑応答）×4回実施

参加者数：最大91名（重複者含む）

②教職員向け

実施日時：令和3年8月25日（水）13：30～15：40

実施方法：オンライン（Zoom/各大学がブレイクアウトルームに分かれて説明）

1回25分（説明・質疑応答）×4回実施

参加者数：29名

1 7 留学情報等提供事業

(留學生ウェブサイト、留學生交流)

1 目 的

県内外の留學生に、広島県の留学環境や生活・勉強支援、就職支援の情報や、県内の留學生採用企業情報などを「広島留学ポータルサイト」により提供する。

交流事業を通して、県内留學生間の親睦を深め、日本人学生、地域住民との交流を図る。

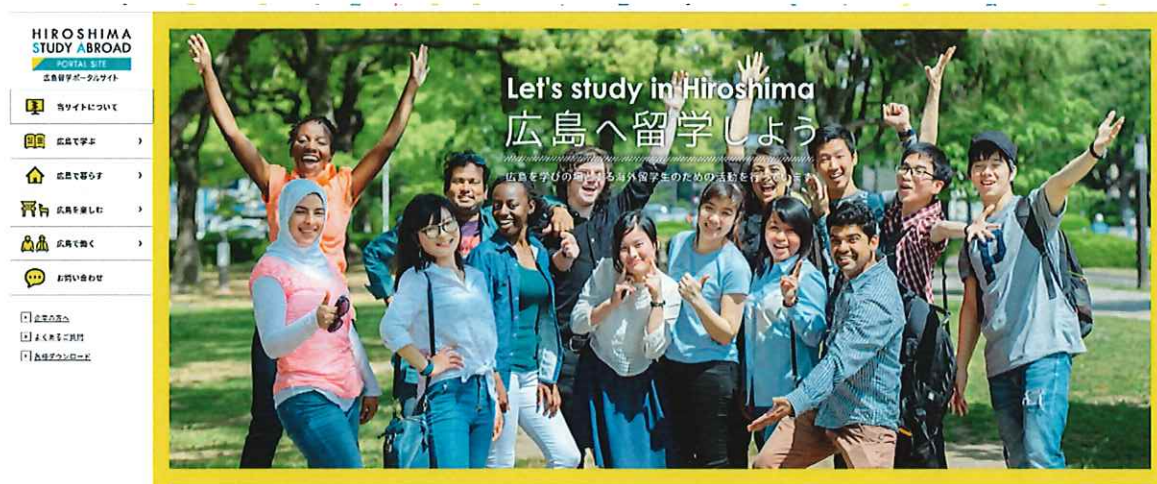
2 事業概要

- ・広島県の留学環境（学習、生活、娯楽など）、広島県の高等教育機関、留學生生活躍支援センターの活動等について情報提供を行う。
- ・フィールドワークやウォークラリーなどの交流イベントを開催し、留學生と日本人学生、地域住民と共にまちづくりについて考え、交流を促進する。

3 令和3年度実績

(1) 留學生ウェブサイト事業

- ・平成30年度に開設した広島留学ポータルサイトの、多言語（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語）対応を実施することにより国内外へ情報発信。また、情報更新を実施。



(2) 留學生交流事業

ア) 留學生間交流

江田島市で、海の生き物に触れるワークショップを行い、カヌーやSUPなどのアクティビティを通して留學生同士の交流を深めた。

実施日：令和3年8月10日(火)

実施場所：江田島市沖美町

参加人数：計43名



イ) 留學生・日本人学生間の交流

東広島市安芸津町で、じゃがいも掘りやみかん狩り、レモン狩りなどの農業体験を行い、日本人学生・留學生の交流を図った。

実施日：令和3年12月11日（土）

実施場所：東広島市安芸津町

参加人数：計46名（留学生32名，日本人学生14名）



ウ）学生団体と連携した交流

広島大学の現役学生とOBのグループ「ひとむすび」と共催

「ひとむすび」：東広島地域の美味しいもの，楽しいものを集めたマーケット「ひとむすびの場」を主催したり，地域情報の発信，地域ツアーの企画運営をしている。

① 入野（東広島市河内町）

入野きのこセンターでのマイタケ収穫体験や三景園での散策，フォトコンテストを通じ，留学生同士交流を深めた。

実施日：令和3年7月17日（土）

場所：東広島市河内町入野

参加人数：留学生23名



② 帝釈峡（神石郡神石高原町/庄原市東城町）

上帝釈や神龍湖を散策し，地元のガイドの方から帝釈峡についてのお話をきいたり質問をしたりして，地域理解を深めた。

実施日：令和3年11月7日（日）

場所：帝釈峡

参加人数：留学生21名



③ 豊栄（東広島市豊栄町）

豊栄町の小石川観光りんご園にてりんご狩りをした後，「野菜Labo」の田野実温代さんに教わりながら収穫したりんごを使った料理体験を行い，地域の方と交流した。

実施日：令和3年11月20日（土）

場所：豊栄

参加人数：留学生21名



エ) 外国人留学生によるボランティア活動

①広島県立加計高等学校 文化交流会

留学生による母国紹介を始め、高校生からは和太鼓演奏や綿菓子、かき氷や射的、浴衣の着付け、輪投げ、将棋、折り紙、たこ焼きなど様々な催し物を通して交流をした。

実施日：令和3年7月15日（木）
場 所：広島県立加計高等学校
参加人数：留学生10名・高校生120名



②広島県立尾道商業高等学校 文化交流会

留学生は自国の歌を披露し、高校生からは英語での尾道の観光スポットの紹介や、尾道の踊り「ええじゃん」のパフォーマンス、松茸ご飯を作ってもらい、地元学生との交流を深めた。

実施日：令和3年10月30日（土）
場 所：広島県立尾道商業高等学校
参加人数：留学生13名・高校生30名



③広島県立加計高等学校 食文化交流会

留学生の母国の料理を高校生と一緒に調理した。計5か国（中国、韓国、インドネシア、ペルー、ケニア）、9品の料理を調理し、食文化交流をした。

実施日：令和3年11月9日（火）
場 所：広島県立加計高等学校
参加人数：留学生9名・高校生40名



オ) ホームステイ・ホームビジット

広島県内の留学生が地域との交流を図るとともに、日本文化の理解を促進するため、またホストファミリーは多文化共生の理解を深めるための交流を促進する。

令和3年度実績：7回（ホームビジット）
参加人数：14名

